

NL9728IO 用受信アプリ

～バーコードデータ収集システム～

データ受信アプリケーション

取扱説明書

1.0 版

日栄インテック株式会社
バーコード事業部

(このページは空白です)

はじめに



■はじめに

この度は NL9728IOP をご購入いただき、誠にありがとうございます。ご使用の際に、次の注意がございますので、ご一読のほどお願い申し上げます。

■ ご注意

CRD-9723 (CRD-972xRU) 通信ユニットにて USB 接続を選択された場合は、付属のドライバをインストールして下さい。

■ 安全上のご注意

 注意 説明内容を見逃した場合、 傷害を負う可能性または 物的損害を発生する可能性が 想定されます。	 感電、けがの恐れがありますので、 下記事項を必ずお守りください。 ■電源は正しく接続すること。 ■定格電圧以外の電圧を印加して使用しない ■分解しないこと。 ■製品を水に濡らさないこと
--	---

■ ご使用上の注意事項

製品の故障・性能劣化や誤動作の原因となりますので、必ず次の内容をお守り下さい。

- ◎ ほこりや直射日光の当たる場所、高温、多湿となる場所は避けてお使い下さい。
- ◎ 水・油・薬品などのついた手で操作しないで下さい。
- ◎ 製品に強い衝撃を加えたり、落下させたりしないで下さい。
- ◎ 高電圧装置、大型モータなどの放射ノイズの大きい機器に接近しての使用は避けて下さい。
- ◎ ケーブルは強く引っ張ったり、屈曲させたりしないで下さい。
- ◎ 3ヶ月以上の放置は避けて下さい。二次電池まで空になると、内部プログラムが正常動作しなくなる可能性があります。その場合の復帰作業は、保障期間外である場合、有料となります。

■ 最新情報

弊社 WEB サイト <http://www.barcode.ne.jp/> で最新の情報をご覧いただけます。

Windows 98SE/2000/XP , Microsoft EXCEL ,Microsoft Visual Basic 6.0 は、米国マイクロソフト社の商標又は登録商標です。

目次

はじめに.....	1
目次.....	2
1. CD-ROM の内容.....	5
2. 概略.....	6
3. データ受信ソフトのインストール方法.....	8
3-1. VB 製受信アプリの場合.....	8
3-2. EXCEL 製アプリの場合.....	10
4. VB 製データ受信アプリ機能説明.....	11
4-1. 基本操作説明.....	11
4-2. 通信ポート(COM).....	12
4-3. ファイルの保存方法.....	12
4-4. データ取込項目と順番.....	13
4-5. 保存ファイル形式.....	14
4-6. UCC/EAN-128(GS1-128)出力形式.....	15
5. VB 製データ受信アプリ画面の説明.....	16
5-1. データ受信画面.....	16
5-1-1. ファイル名.....	16
5-1-2. シート名.....	16
5-1-3. 受信開始.....	16
5-1-4. 設定.....	16
5-1-5. 終了.....	16
5-2. 設定画面.....	17
5-2-1. 通信ポート.....	17
5-2-2. 保存フォルダ.....	18
5-2-3. 保存方法.....	18
5-2-4. 取込項目順.....	19
5-2-5. 保存ファイル形式.....	20
5-2-6. UCC/EAN-128(GS1-128)出力形式.....	22
5-2-7. 受信画面へ戻る.....	23
6. EXCEL マクロ製データ受信アプリの使い方.....	24
6-1. 操作説明.....	24
6-2. 受信項目.....	24

7. EXCEL マクロ製データ受信アプリの画面説明	25
7-1. データ受信画面	25
8. よくある質問	26
8-1. データ受信できない.....	26
8-1-1. Windows バージョン XP の場合のデバイスマネージャ確認方法	27
8-2. EXCEL マクロのダイアログが表示されない.....	28
8-3. AI が括弧でくくれない	28

(このページは空白です)

1. CD-ROM の内容

CD-ROM の内容は以下の通りです。



1: CRD-9723 (CRD-972xRU) 通信ユニットにて USB 接続を選択された場合は、上記「972x クレードル USB ドライバ」フォルダ内のドライバを利用してください。

2: 2 種類の受信プログラムは「Receive」フォルダ内の「VB」、「Excel」フォルダのいずれかを利用してください。併用でも問題ありません。しかし同時に同一通信ポート番号を開くことは出来ません。「VB」の場合は Setup.exe の実行、「Excel」の場合はその中の xls ファイルをコピーして利用してください。

3: それぞれの取扱説明書が「取扱説明書」フォルダにあります。

2. 概略

- 1) NL9728IO 用データ受信アプリケーションは、Microsoft Visual Basic 6.0(以下 VB)製受信アプリと、Microsoft Excel(以下 Excel)マクロ製受信アプリの2種類ご用意しております。

	VB 製	Excel マクロ
保存形式	テキストファイル(CSV,TXT) Excel ファイル(XLS)	マクロが起動しているファイルの指定シート。
インストール方法	CD-ROM 内[Receive]-[VB]-[Setup]フォルダの Setup.exe 実行。	CD-ROM 内 [Receive]-[Excel]フォルダの NL9728IO.xls)実行。

- 2) NL9728IO 用データ受信アプリケーションは、NL9728IOP に対応しています。
NL9723/8 シリーズの他バージョンのデータ受信には利用できません。

- 3) 基本転送項目(7項目)

機器 ID	担当者	日付	時刻	品番	棚番	数量
4 桁	5 桁以内	yyyy/mm/dd	hh:mm:ss	40 桁以内	40 桁以内	8 桁以内

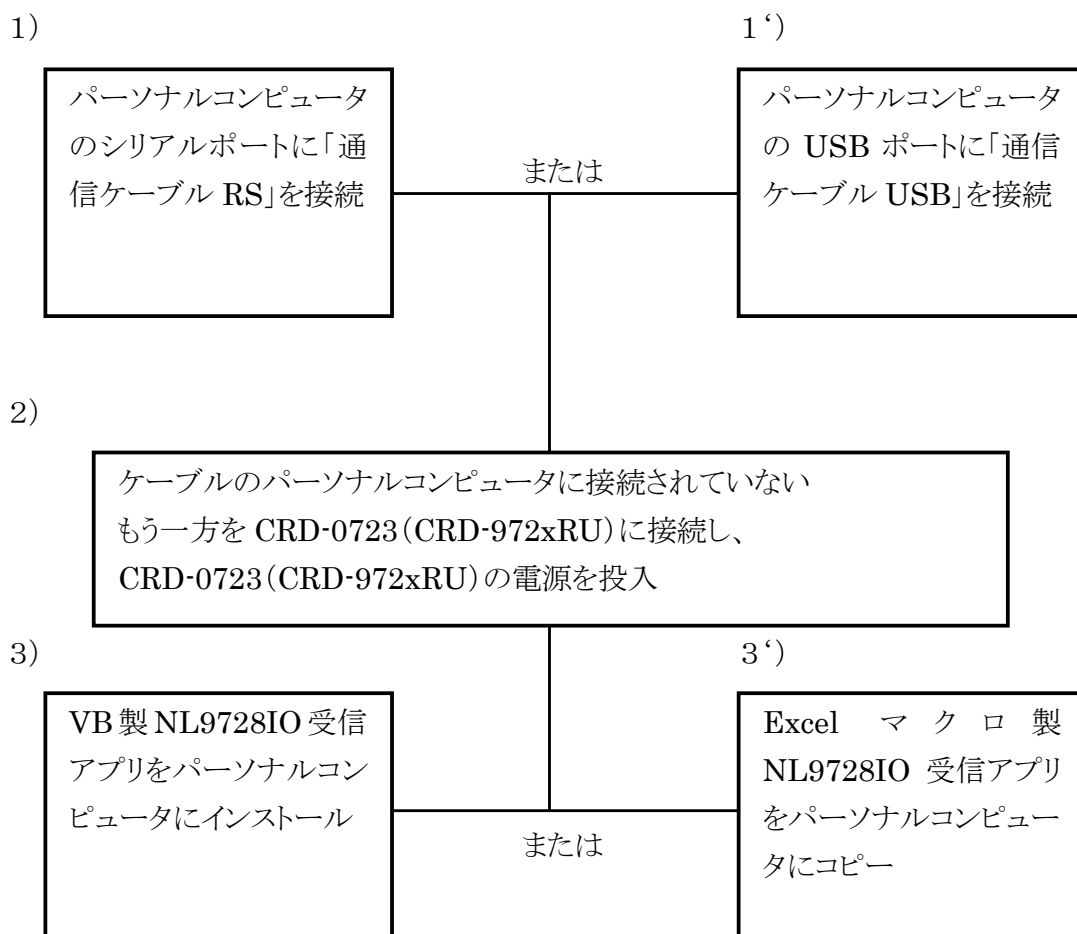
- 4) データ転送に必要な機器構成

機器名	備考
NL9728IO(本体)	データコレクタ
CRD-9723 (CRD-972xRU)	充電、データ転送兼用置台
通信ケーブル(USB or RS)	CRD、パーソナルコンピュータ接続ケーブル
Microsoft Windows 98SE/2000/XP OS 搭載パーソナルコンピュータ	
Microsoft Excel 2000 以上推奨	Excel マクロをご利用の場合は勿論、VB 製プログラムご利用の場合でも、出力先が Excel ファイルであれば必要です。

5) ご利用構成

ご利用のパーソナルコンピュータに何もインストールしたくない場合は、
通信ケーブルに RS、受信アプリに Excel 製をご利用下さい。

通信ケーブルに USB の場合はその USB ドライバ、受信アプリに VB 製の場合には、そのアプリのインストールが必要になります。

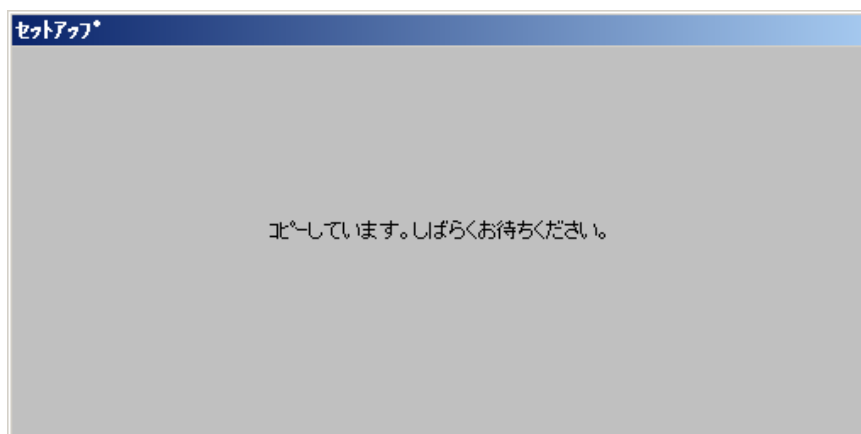


3. データ受信ソフトのインストール方法

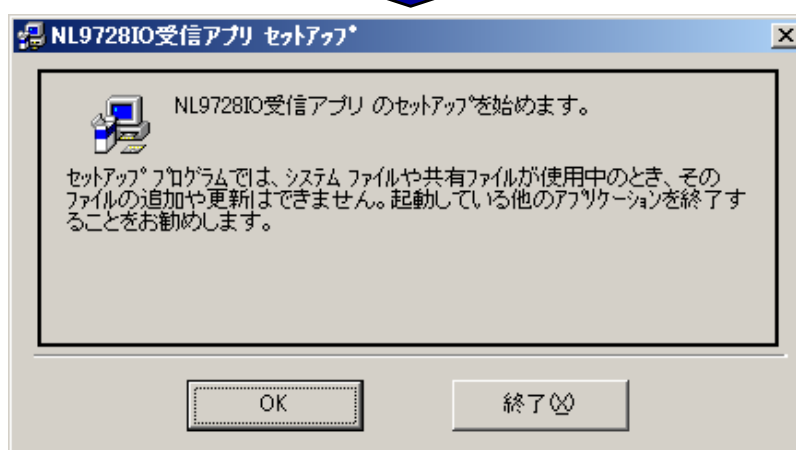
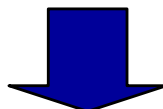
- 1) CD-ROM を CD-ROM ドライブ にセットします。
- 2) VB 製の受信アプリと Excel 製受信アプリとは、それぞれインストール方法が異なります。

3-1. VB 製受信アプリの場合

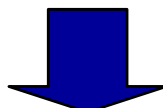
添付 CD の [VB] フォルダ 内の [Setup] フォルダ にある [setup.exe] を実行してください。

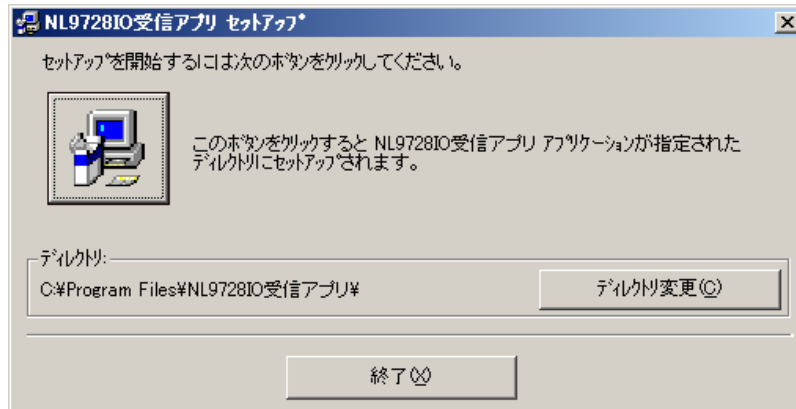


1:しばらくお待ちください。

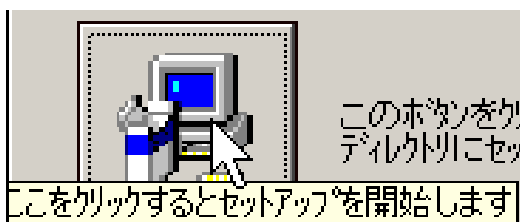


2:「NL9728IO 受信アプリ」インストールする場合は[OK]を押して下さい。

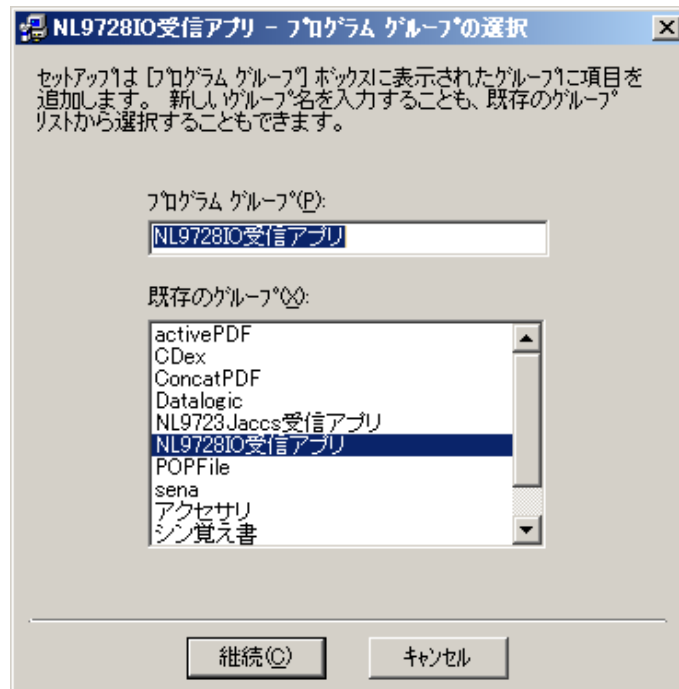
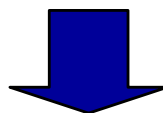




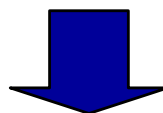
3: インストール先を変更する場合は[ディレクトリ変更]ボタンを押して下さい。
インストール先が決定したら、左上の

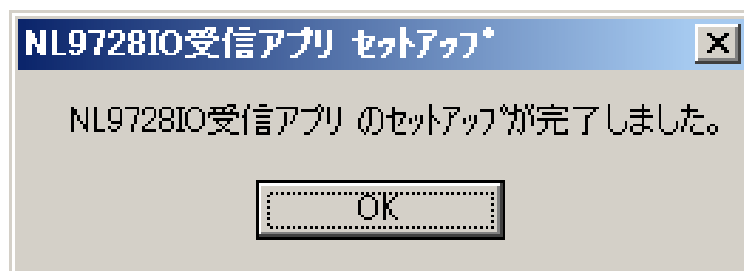


を押して下さい。



4: スタートメニューに登録するプログラムグループを記入してください。
[プログラムグループ]が確定したら、[継続]ボタンを押して下さい。





5:インストール作業完了です。

※) 1:~5:の手順をデフォルトで進みますと、[スタート]-[すべてのプログラム]メニューに登録されます。

3-2. Excel 製アプリの場合

添付 CD の[Excel]フォルダ内の[NL9728IO.xls]をご利用パーソナルコンピュータの任意のフォルダにコピーして下さい。



4. VB 製データ受信アプリ機能説明

4-1. 基本操作説明

はじめに、スタートメニューの NL9728IO 受信アプリを起動して下さい。



NL9728IOP では、「入庫」「出庫」「棚卸」の各データを別個に扱います。

保存ファイル形式がテキストファイル(拡張子が CSVかTXT)の場合は、3つのファイルに保存します。

Excel ファイルの場合は、ファイルを 3 つに分けるか、1 つのファイル内でシートを 3 つに分けるか、設定で選択できます。

初回起動時はファイル名が空欄になっていますので、ファイル名(および、Excel ファイルの場合はシート名)を入力します。

2 回目以降は、前回入力したファイル名/シート名がセットされます。保存ファイル形式を変更した場合でも、ファイル名/シート名は継承されます。

「受信開始」ボタンを押すと、画面に「受信中です」と表示されますので、NL9728 本体で送信を行います。

「設定」ボタンを押すと、ファイルの保存場所や、通信ポート設定を変更できます。

4-2. 通信ポート (COM)

選択可能なポート番号は「 1 ~ 256」です。

ただし、実際に使用できる番号は、ご利用のパーソナルコンピュータにより異なりますので、ご利用のパーソナルコンピュータで使用できる範囲内の番号を選択する必要があります。



4-3. ファイルの保存方法

ファイルの保存時に「追記」または「上書」の選択ができます。

追記. 同一名のファイル・シートが存在する場合、最下行に追記していきます。

上書. 同一名のファイル・シートが存在する場合、上書きします。



4-4. データ取込項目と順番

下記の7項目の受信ができます。＜初期値＞

1. 機器 ID
2. 担当者 CD
3. 年月日
4. 時刻
5. 棚番
6. 品番
7. 数量

その取込項目は必要な分だけ選択でき、順番も変更できます。

取込項目順

保存しない項目

保存する項目と順番

機器ID
担当CD
棚番
品番
数量
年月日
時刻

>>
>
<
<<

初期値に戻す

取込項目順

保存しない項目

保存する項目と順番

機器ID
担当CD

年月日
時刻
棚番
品番
数量

>>
>
<
<<

初期値に戻す

4-5. 保存ファイル形式

テキストファイル(拡張子は CSV か TXT)、もしくは Excel ファイル(拡張子は XLS)に保存できます。

テキストファイル選択時は、「フィールド区切文字」及び「データ囲み記号」を指定できます。

・「フィールド区切文字」は下記の4項目が選択可能です。

1. カンマ
2. タブ
3. セミコロン
4. 半角スペース

・「データ囲み記号」は下記の3項目が選択可能です。

1. なし
2. 半角ダブルコーテーション
3. 半角シングルコーテーション

The screenshot shows the '保存ファイル形式' (Save File Format) dialog box. The 'CSV' radio button is selected. Below it, the 'フィールド区切記号' (Field Separator) section has 'カンマ' (Comma) selected. The 'データ囲み記号' (Data Enclosure) dropdown menu is set to '(なし)' (None).

The screenshot shows the '保存ファイル形式' (Save File Format) dialog box. The 'TXT' radio button is selected. Below it, the 'フィールド区切記号' (Field Separator) section has 'カンマ' (Comma) selected. The 'データ囲み記号' (Data Enclosure) dropdown menu is set to '(なし)' (None).

「XLS」選択時は、特定の項目の先頭に「'」シングルコーテーションを付加できます。

・「シングルコーテーション付加対象」は下記の 5 項目が選択可能です。

- ①機器 ID ②担当者 CD ③品番 ④棚番 ⑤数量

また、Excel ファイル選択時は、「入庫」「出庫」「棚卸」の各データの保存先として、ファイルを 3 つに分けるか、1 つのファイル内でシートを 3 つに分けるかを、設定で選択できます。

The screenshot shows the '保存ファイル形式' (Save File Format) dialog box. The 'XLS' radio button is selected. Below it, the 'シングルコーテーション' (Single Quotation) section has checkboxes for '機器IDの先頭', '担当者CDの先頭', '棚番の先頭', '品番の先頭', and '数量の先頭', all of which are currently unchecked. The '出力設定' (Output Settings) section has 'シートを分ける' (Separate by Sheet) selected.

4-6. UCC/EAN-128(GS1-128)出力形式

※UCC/EAN-128(GS1-128)アプリケーション識別子(AI)については JIS X0531:2003 に準じています。

NL9728 から「UCC/EAN-128(GS1-128)」(以下 EAN-128)が送信された場合、(EAN-128 である場合はそのデータの先頭や、可変長アプリケーション識別子(以下 AI)データの末尾に<FNC1>があります。)その<FNC1>を任意のキャラクタに変換するか、AI を丸括弧でくくって出力するのを選択できます。しかし、この先頭<FNC1>は「UCC/EAN-128(GS1-128)」であることの判定に使用しているだけですので表示されません。

UCC/EAN-128(GS1-128)出力形式	<input type="radio"/> <FNC1>を任意のキャラクタに変換	<input type="text" value="@"/>
	<input checked="" type="radio"/> AIを括弧でくくって出力	

5. VB 製データ受信アプリ画面の説明

5-1. データ受信画面



(保存ファイル形式で CSV を選択した場合の受信画面)

5-1-1. ファイル名

保存先ファイル名を入力して下さい。

[設定]-「保存ファイル形式」の選択状況により、拡張子が自動で変更されます。

[設定]-「保存ファイル形式」	自動付加される拡張子
CSV	csv
TXT	txt
XLS	xls

5-1-2. シート名

[設定]-「保存ファイル形式」を「 XLS 」としている場合、保存先ファイルのシート名も入力して下さい。

5-1-3. 受信開始

データの受信を開始します。NL9728IO からのデータ送信を待ち受けます。

[設定]-[保存先フォルダ]に設定されているパスに、[受信画面]-[ファイル名]に指定されたファイル名でデータを保存します。

5-1-4. 設定

設定画面を開きます。[6-2. 設定画面]参照。

5-1-5. 終了

アプリケーションを終了します。

5-2. 設定画面

設定

通信ポート(COM) 1

保存先フォルダ C:\Documents and Settings\All Users\デスクトップ\

保存方法 追記 上書

取込項目順

保存しない項目	保存する項目と順番
	機器ID 担当CD 棚番 品番 数量 年月日 時刻

初期値に戻す

保存ファイル形式 CSV TXT XLS

xls

シングルコーデーション

機器IDの先頭 担当者CDの先頭
 棚番の先頭 品番の先頭 数量の先頭

出力設定

シートを分ける ファイルを分ける

UCC/EAN-128 (GS1-128) 出力形式 <FNC1>を任意のキャラクタに変換 @
 ATを括弧でくっつけて出力

受信画面へ戻る

5-2-1. 通信ポート

通信ポート(COM) 1

CRD-9723 (CRD-972xRU) 通信ユニットを接続する、パーソナルコンピュータのシリアルポートの番号を選択します。範囲は「 1～256 」です。

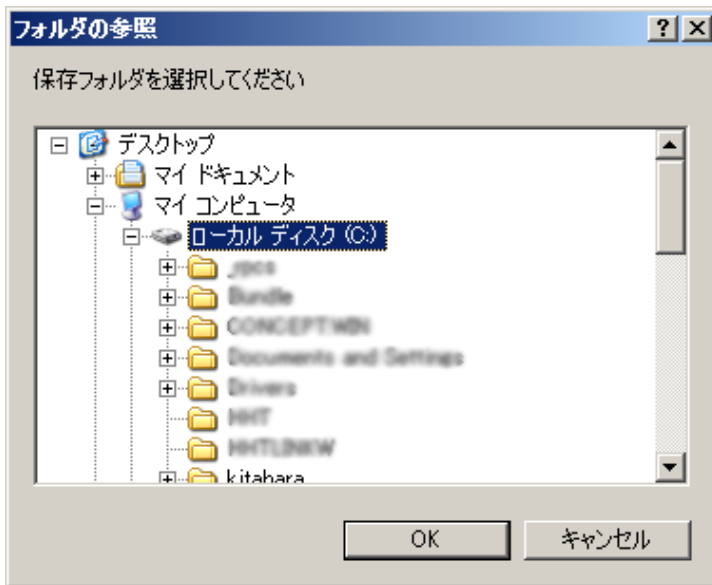
指定可能な番号はご利用の Windows 付属デバイスマネージャなどでご確認ください。変更する場合は、右側「▼」をクリックすると候補が選択できます。

※)「▼」で表示される番号が全て設定可能なわけではありません。

5-2-2. 保存フォルダ



受信ファイルを保存するフォルダを記入します。右側のボタンを押すことで、「フォルダの参照」ダイアログが表示され、フォルダ選択ができます。



保存したいフォルダをポイント後、[OK]ボタンを押して下さい。

5-2-3. 保存方法



保存予定のファイル名が、既に存在しているファイルである場合の動作を設定します。「上書」を選択される場合は充分注意してください。一度上書きされたファイルは復帰できません。

有効な保存方法の左側が●になります。

5-2-4. 取込項目順



必要な取込項目とその順番を指定出来ます。右側のリスト「保存する項目と順番」に登録されている項目だけが保存されます。

[>>]ボタン

「保存しない項目」からすべての項目を「保存する項目と順番」へ移します。

[>]ボタン

「保存しない項目」に指定されている項目のみを「保存する項目と順番」へ移します。

[<]ボタン

「保存する項目と順番」に指定されている項目のみを「保存しない項目」へ移します。

[<<]ボタン

「保存する項目と順番」からすべての項目を「保存しない項目」へ移します。

各移動されたい項目名をリスト上でダブルクリックすると、その反対のリストの最下段へ移動します。

「初期値に戻す」ボタンは出荷時の並び順、【機器ID、担当CD、年月日、時刻、品番、棚番、数量】に設定できます。



5-2-5. 保存ファイル形式

指定できる保存ファイル形式は[CSV]、[TXT]、[XLS]の3種類です。[CSV]と[TXT]はテキストファイル形式で、[XLS]は Excel ファイルでの保存となります。

それぞれの保存形式にはオプションがあります。

The screenshot shows the 'Save File Format' dialog box with 'CSV' selected. The 'Field Separator' section has radio buttons for 'カンマ' (Comma), 'タブ' (Tab), 'セミコロン' (Semicolon), and '半角スペース' (Half-width space), with 'カンマ' selected. The 'Data Enclosure' section has a dropdown menu currently set to '(なし)' (None).

The screenshot shows the 'Save File Format' dialog box with 'TXT' selected. The 'Field Separator' section has radio buttons for 'カンマ' (Comma), 'タブ' (Tab), 'セミコロン' (Semicolon), and '半角スペース' (Half-width space), with 'カンマ' selected. The 'Data Enclosure' section has a dropdown menu currently set to '(なし)' (None).

[CSV]及び[TXT]では、データ同士の区切記号を選択できます。その種類は[カンマ]、[タブ]、[セミコロン]、[半角スペース]の4つです。

また、データそのものを囲む記号を選択できます。

その種類は[(なし)]、[ダブルコーテーション][シングルコーテーション]の3つです。

[CSV]-[フィールド区切記号]と[TXT]-[フィールド区切記号]、[CSV]-[データ囲み記号]と[TXT]-[データ囲み記号]はそれぞれ別のパラメータとして保持します。

The screenshot shows the 'Save File Format' dialog box with 'XLS' selected. The 'Single Quotation' section has a dropdown menu set to 'シングルコーテーション' (Single Quotation). Below it are checkboxes for '機器IDの先頭' (Device ID), '担当者CDの先頭' (Staffer CD), '欄番の先頭' (Column Number), '品番の先頭' (Item Number), and '数量の先頭' (Quantity), all of which are currently unchecked. The 'Output Settings' section has radio buttons for 'シートを分ける' (Separate Sheets) and 'ファイルを分ける' (Separate Files), with 'シートを分ける' selected.

[XLS]では、データの先頭にシングルコーテーションを付加する項目を指定できます。

Excel では、数字のみのデータが標準形式セルに書き込まれた場合に、12桁を超えると「指数表示」になります。(123456789012→1.23457E+11)

また、数字のみのデータで、桁数を揃えるために先頭にゼロを付加している場合も、標準軽視セルでは先頭のゼロは削除されます。

データの先頭にシングルコーテーションを付加することで、これを回避することができます。ただしデータは「123456789012」→「'123456789012」となりますので、データの取扱には十分な注意が必要です。

また、Excel ファイル選択時は、「入庫」「出庫」「棚卸」の各データの保存先として、ファイルを3つに分けるか、1つのファイル内でシートを3つに分けるかを、設定で選択できます。



NL9728IO データ受信アプリケーション Ver.1.00

NICHIEI INTEC

NL9728IOP

データ受信アプリケーション

	ファイル名		シート名
入庫	nyuuko	.xls	sheet1
出庫	syukko	.xls	sheet1
棚卸	tanaoroshi	.xls	sheet1

受信開始 設定 終了

(「シートを分ける」を選択した場合の受信画面)



NL9728IO データ受信アプリケーション Ver.1.00

NICHIEI INTEC

NL9728IOP

データ受信アプリケーション

ファイル名	zaiko	.xls
入庫シート名	nyuuko	
出庫シート名	syukko	
棚卸シート名	tanaoroshi	

受信開始 設定 終了

(「シートを分ける」を選択した場合の受信画面)

5-2-6. UCC/EAN-128(GS1-128)出力形式

※UCC/EAN-128(GS1-128)アプリケーション識別子(AI)については JIS X0531:2003 に準じています。

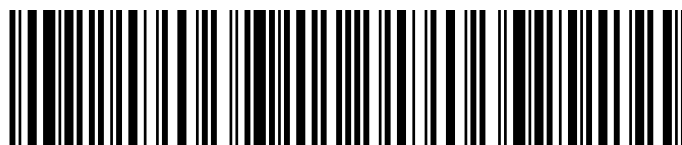
UCC/EAN-128(GS1-128)出力形式	<input type="radio"/> <FNC1>を任意のキャラクタに変換	@
	<input checked="" type="radio"/> AIを括弧でくくって出力	

NL9728IO の[6. システム設定]-[4. 読取バー設定]で[* EAN128] (別紙 NL9728IO～バーコード収集システム～取扱説明書参照)と設定して読取った[UCC/EAN-128(GS1-128)バーコード]は、可変長アプリケーション識別子(以下 AI)付データの末尾に<FNC1>が付加されてパーソナルコンピュータに送信されます。その<FNC1>は不可視の文字であるため、人の目には見えません。

その見えなくなった<FNC1>を考慮してデータを出力できます。選択できる出力形式は、「<FNC1>を任意のキャラクタに変換」、「AI を括弧でくくって出力」の2つです。

【出力例】

下記のサンプルバーコードをNL9728IO で収集後、NL9728IO 用受信アプリにて、受信する場合を想定します。



(01) 1 2345678 90123 1 (30) 12345678 (20) 12

上記サンプルバーコードを、NL9728IO の[6. システム設定]-[4. 読取バー設定]で[* EAN128]状態で読取った場合、

■0112345678901233012345678■2012

というデータとして保持されています。NL9728IO 内では<FNC1>を■として表示されています。

先頭の<FNC1>はそのデータが、UCC/EAN-128(GS1-128)であるか、その他であるのかを判定するためのものです。この先頭<FNC1>により、他のバーコード種別に対して、後述 2 通りの形式を適用することはありません。

●「<FNC1>を任意のキャラクタに変換」を選択した場合

先頭<FNC1>以外の<FNC1>を、右側のテキストボックスに指定した文字に置き換えます。デフォルト値は「@」です。デフォルトの場合、

0112345678901233012345678@2012

となります。テキストボックスに、「-abc-」と設定した場合は、

01123456789012313012345678-abc-2012

となります。指定可能文字数は最大 5 文字となっております。テキストボックスに何も指定していない場合は、

011234567890123130123456782012

となり、Code128 として読取った結果と同一になります。

●「AI を括弧でくくって出力」を選択した場合

UCC/EAN-128(GS1-128)アプリケーション識別子(AI)については「JIS X0531:2003」に準じております。よって、その「AI」は 2006 年 7 月現在のものとなっております。それ以後に設定された AI については考慮されません。

(01)12345678901231(30)12345678(20)12

5-2-7. 受信画面へ戻る

設定を保存し、受信画面へ戻ります

6. Excel マクロ製データ受信アプリの使い方

6-1. 操作説明

はじめに、CD-ROM から任意の場所にコピーした[NL9728IO.xls]を起動して下さい。



マクロの有効許可のダイアログが表示されますので許可して下さい。

受信用画面が自動実行されます。

ご利用の通信ポートを選択し、[データ受信]ボタンを押して受信を開始し、画面に「受信待ち」と表示されますので NL9728IO 本体で送信を行ってください。

6-2. 受信項目

下記の7項目の受信ができます。

1. 機器 ID
2. 担当 CD
3. 年月日
4. 時刻
5. 品番
6. 棚番
7. 数量

7. Excel マクロ製データ受信アプリの画面説明

7-1. データ受信画面



[データ受信]: データの受信を開始します。

[中止]／[閉じる]: 受信完了前はデータ受信を中止して、通信ボックスを閉じます。

通信ポート: クレドールを接続している通信ポート番号を指定します。

在庫シート: 収集した在庫データを取り込むシートを選択します。

出庫シート: 収集した出庫データを取り込むシートを選択します。

棚卸シート: 収集した棚卸データを取り込むシートを選択します。

状態: 現在の状態を表示します。

8. よくある質問

8-1. データ受信できない

データが受信できないそのほとんどの原因は「通信ポートの設定ミス」であることが多いようです。

その他の原因としては、

「CRD-972x(クレードル)電源ケーブルが接続されていない」、

「CRD-972x(クレードル)とパーソナルコンピュータが接続されていない」、

「パーソナルコンピュータ側受信アプリケーションが受信待ち状態になっていない」、

「NL9728IO が送信状態になっていない」、

「NL9728IO を CRD-972x(クレードル)に置いていない」、

「NL9728IO の電圧が下がりすぎている」、

「NL9728IO が故障している」、

「CRD-972x(クレードル)が故障している」

「パーソナルコンピュータ、とCRD-972x(クレードル)を接続するケーブルにUSBを選択している場合、そのドライバが正しくインストールされていない」

等々あります。

本項目では受信アプリケーションで解決できる方法の一部を紹介します。

【ご利用のパーソナルコンピュータで利用できる通信ポート番号を確認する方法】

通信ポートの確認はデバイスマネージャをご利用下さい。

デバイスマネージャは Windows の標準機能であり、そのバージョン(XP、2000、等々)により、その操作方法は異なる場合があります。詳しい操作方法はそれぞれの説明書をご覧ください。以下には WindowsXp での一例を紹介します。

8-1-1. Windows バージョン XP の場合のデバイスマネージャ確認方法

1. マイコンピュータを右クリックして「ショートカットメニュー」を表示。
2. ショートカットメニュー最下段の「プロパティ(R)」を左クリックして、「システムのプロパティ」を表示。
3. 「ハードウェア」タブを左クリック。
4. 3項目のうち、最上段の「デバイスマネージャ(D)」ボタンを左クリックし、デバイスマネージャを表示。
5. 「デバイスマネージャ」の「ファイル(F)」「操作(A)」「表示(V)」「ヘルプ(H)」の、「表示(V)」を左クリックして表示されるメニューの「デバイス種別(E)」の左に【●】がついていることを確認します。違う項目に【●】がついている場合は、「デバイス種別(E)」を左クリックして下さい。表示は「●デバイス種別(E)」となります。
6. デバイスマネージャの白いメイン部分に、「キーボード」や「モニタ」など様々な項目が、ツリー状に表示されます。その項目の中で、「ポート(COMとLPT)」の左の「+」を左クリックすると、現在使用可能なポート番号が表示されます。
7. 「USB Serial Port(COM10)」、[通信ポート(COM1)]などが表示されます。
この COM の右に表示される数字が、そのパーソナルコンピュータで使用できる通信ポート番号となります。

8-2. Excel マクロのダイアログが表示されない

ご利用の Excel のマクロのセキュリティが「高」に設定されている可能性があります。

本受信マクロはそのセキュリティを下げることで動作します。マクロのセキュリティに関する情報は、お持ちの Excel バージョンにより異なる場合がございますので、各それぞれの説明書、及びご利用者様方システム管理者にお尋ねください。セキュリティレベルの変更はご利用者の責任の下行っていただく必要があります。

8-3. AI が括弧でくくれない

UCC/EAN-128(GS1-128)アプリケーション識別子(AI)については JIS X0531:2003 に準じております。つまり、その AI がまず本 VB 製データアプリの作成時に制定されていない AI である場合は、その AI を括弧でくくれません。本 VB 製データアプリは 2006 年 7 月現在公表されている AI を対象にしています。

また、この機能は「VB 製データ受信アプリ」のみの機能です。「Excel マクロ製データ受信アプリ」ではご利用できません。

NL9728IO でバーコードを読取時既に、<FNC1>が保存されていない場合があります。別紙「NL9728IO～バーコード収集システム～取扱説明書」に従って、NL9728IO の[6. システム設定]-[4. 読取バー設定]にて「品番」、「棚番」それぞれ必要な方で[* EAN128] として下さい。[EAN128]となっている場合、読取っているバーコードが UCC/EAN-128(GS1-128)であっても、Code128 として認識してしまうため、<FNC1>が付加されません。結果、受信アプリで AI を括弧でくくることが出来ません。

(このページは空白です)

日栄インテック株式会社

バーコード事業部

<http://www.barcode.ne.jp/>

〒101-0063 東京都千代田区神田淡路町 2-1

日栄インテック神田ビル 3F

TEL:03-5256-7733 FAX:03-5256-5503

info@barcode.ne.jp

2008年10月 初版発行